

- View from the Other Side 3
日本の高校で学ぶ4人のUAE 高校生
- あちこち日本語ご紹介〈国内編〉..... 4
大阪府 豊中市
- あちこち日本語ご紹介〈海外編〉..... 5
台湾 花蓮県
- 教材紹介 6
『初中級レベル ロールプレイで学ぶビジネス日本語
一場面に合わせて適切に話そう』
『新完全マスター単語 日本語能力試験N1 重要 2200語』
みんなの日本語初級1 第2版 教え方の動画
第1課・第7課・第14課・第24課
- なんでも情報BOX..... 8

スリーイーネットワーク

巻頭
寄稿

日本語教育と平和教育の接点を求めて



長岡技術科学大学 教授

柴崎秀子

これまで30年以上日本語教育に携わってきたが、今年度をもって定年退職となり私の日本語教師人生も終わりとなる。ここ数年は初級者には英語で、上級者には日本語で平和教育を視点に据えた授業を行ってきた。私が勤務する長岡技術科学大学の留学生は全員が将来技術者となり、各国の社会インフラ整備を始め、各方面の技術開発に関わっていく人たちである。彼らに科学技術の正と負の両面を考えてもらい、将来、人々の幸福に貢献する技術者になってほしいという考えから、科学技術がもたらした最大の不幸とも言うべき原子爆弾について、ラジウムの発見から原爆開発、原爆投下とその影響、さらに核廃絶運動の現在までを授業で扱っている。

授業だけでなく、宇宙物理学者の池内了先生に「科学者・技術者の社会的責任」と題し御講演頂き、留学生とディスカッションの場を設けて頂いたことは何にも勝る得難き機会となった。池内先生が教えて下さったガンジーの「人格なき学問に何の意味があろうか」という言葉は留学生の胸に深く刻まれた

ようである。

「アジア近代史」を日本語教師養成課程へ

授業で広島・長崎への原爆投下について語るには戦前の日本の植民地支配の話から始めなければならない。これは日本人としては覚悟が必要である。日頃授業に協力的な学生でも日本と母国の歴史となると態度を硬化させることがあり「原爆で亡くなった人よりも日本人に殺された私の国の人の方が多い」とよく学生に言われる。しかし、戦争は絶対悪であり、いかなる国も二度と戦争をしてはならないという確固たる信念に立てば、学生は必ずついてきてくれると思ってきたし、実際そうであった。

私自身も韓国、ベトナム、中国、インドネシア、マレーシア、シンガポールの歴史教科書を総覧し、留学生が来日以前にどのような教育を受けているかということを学んできた。どの教科書にも日本の植民地支配について相当数のページを割いて記述している。それを安直に反日教育などと呼ぶ思考法が国内に強

くあることも承知しているが、歴史的事実を述べることは「反日」ではない。インドネシアの教科書からは jugun ianfu (従軍慰安婦)、romusha (労務者) など多くの日本語がそのままインドネシア語となっていることも知った。また、歴史教科書以外にもその国の国語の教科書には日本と戦った人々が英雄として描かれていることも学んだ。日本はアジアに対しては加害者、原爆に対しては被害者である。2017年にノーベル平和賞を受賞した ICAN (International Campaign to Abolish Nuclear Weapons) の中心者であるサーロー節子さんは各地で講演する中で、日本が加害者であることを認めて初めてアジアの人々が心を開いてくれると述べている。このようなことから、現在31万人いると言われる留学生の90%以上がアジアの出身者であることを考えると、日本語教師養成課程の中にアジア近代史を入れるべきではないかと私は考えている。

私の授業では学生発表があるが、入念な下調べによる見事なプレゼンテーションにいつも感心する。ある学生の発表は峠三吉の「に

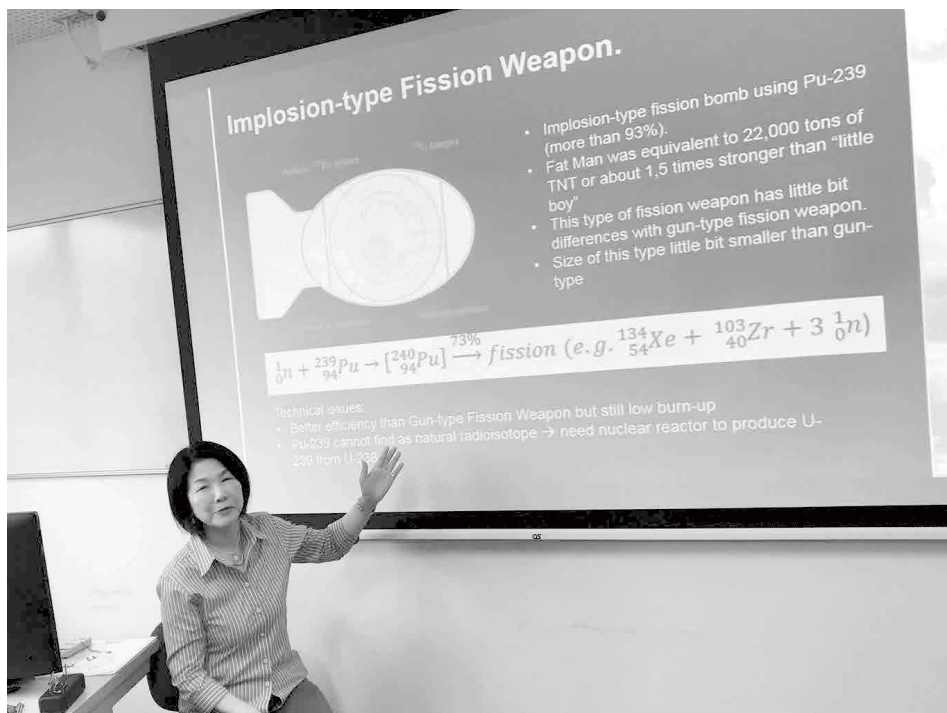
んげんをかえせ」の朗読で始まった。理系の学生たちなので、核融合や核分裂に関する私にはよくわからない数式が次々と出てくるが、彼らは被爆者証言もよく読み、原爆投下を他人事とは捉えていないことがわかる。本学の図書館には広島平和記念館から購入した50冊の資料とDVDが配架されており、新刊が出たらすぐに揃えるようお願いしている。

学習者への平和意識調査

昨年、国内留学生525名と米国在住日本語学習者289名を対象に広島・長崎への原爆投下と核廃絶を中心に平和意識調査を行い、日本軍縮学会や日本平和学会で結果を発表させて頂いた。「原爆投下は正当な判断だった」「核兵器は必要である」「将来、核戦争が起きる可能性がある」「将来、核兵器は廃絶できる」「核兵器は戦争抑止効果がある」の5項目に対し、「強くそう思う」から「全く思わない」の6段階で回答をしてもらった。その結果、原爆投下の正当性についてアジアの学生は北米・欧州学生よりも肯定的であり、特に中国人学生はその傾向が強く、核兵器の必要性についてはどの国よりも肯定的であった。しかし、中国人学生の中でも日本語が上級レベルの学生は初級レベルの学生と比べ、原爆投下の正当性と核兵器の必要性に対して否定的であることが示された。

また、日本への親近性(滞在年数、日本人の友人の数、日本での勤務経験の有無)は原爆投下に対する意識を説明する変数にはならないことも示された。そもそも日本が嫌いなら日本に留学するとは考えにくいので、基本的にどの回答者も親近性が高いため有意差が出ないと思われる。しかし、日本語能力の差が原爆投下の正当性に対する意識で有意差が出るというのは興味深い。平和学習と核問題については、北米欧州の学生はアジア学生よりも圧倒的に知識も学習経験も豊富であること、出身国が核保有国か非核保有国であるかの違いは平和意識には関係がないことも示された。

米国在住の日本語学習者においては、原爆投下に対し21%が肯定的、79%が否定的という結果であったが、2015年にPew Research Center Surveyが行った米国での世論調査結果(肯定派56%、否定派34%)と比べると、日本語学習者は圧倒的に否定的な傾向であることがわかる。外国語学習者は目標言語を使っている国に対し、一般の人よりも理解や



「日本事情」の授業で、長崎の原爆投下について説明する筆者

共感が強いことは想像に難くないが、これほどの差が出るとは予想外であった。米国人だから原爆投下によって第二次世界大戦が終わったと教育されているだろうと考えるのは早計で、大島(1996)の分析によれば、米国の高校用歴史教科書には原爆投下に対し「戦争を早く終わらせ多くの人命を救った」という見解がある一方で「投下は必要なかったし、倫理にも反している」という異なる見解もあるという。

日本語教師の責務として

毎年大勢の留学生が来日するが、日本との負の歴史を学びながらも日本に留学を決めてくれた彼らを、私は一人一人立ってお迎えしたいぐらいの気持ちである。ガルブレイス(2005)は「世界で日本と米国だけが核兵器を使用した戦争を経験しており、その意味と結果を知っている両国は特別な責任がある」と述べているが、核兵器の無益と恐ろしさについて語ることは被爆国の日本語教師としての責務ではないだろうか。なぜなら、核兵器が核戦争を抑止する必要悪であるとする国で生まれ、その発想で生きていくのであれば、核兵器は絶対悪であるという ICAN の主張を学ぶ機会は生涯ないだろうと考えるからである。

学期の終わりに授業の感想を書いているが、メキシコの学生は「原爆投下は正しかったという私の考えは完全になくなりました」、中国長春の学生は「中国だけが被害者だと思っていた。日本もこんなに大変だっ

たのだ。戦争は悪だ。日本と中国は一衣帯水だ。どこよりも仲良くしなければいけない」と書いてくれた。

結局のところ、日本語教育の立場から平和構築に接近していくといっても、大それたことをするわけではなく、出会った学習者一人一人に平和の種を植えていくことであり、これ以外に方法はなく、また、これ以上の方法もないのではないかと考える。

最後にこれまで出会ったすべての留学生に御礼申し上げます。私の学生になってくれてありがとう。皆さんと一緒に授業ができたことは大変に光栄でした。

参考文献

大島京子(1996)「日米比較：歴史教科書の中の原爆投下」『平和研究 21号』119-128. 日本平和学会
 ジョン・ケネス・ガルブレイス他(2005)『人間主義の大世紀をわが人生を飾れ』潮出版社

柴崎秀子(しばさき ひでこ)

東京大学大学院総合文化研究科博士課程修了 博士(学術)

日米協会ディレクター、NHK日本語教育セミナー日本語教師養成講座専任講師等を経て、現在長岡技術科学大学基盤共通教育部教授

アメリカと日本国内で日本語教育に従事

主要な研究テーマ：第二言語文章読解 日本語リーディング

ホームページ：<http://readability.nagaokaut.ac.jp/>

著書：『第二言語テキスト理解と読み手の知識』(2006)

風間書房、『研究社日本語教育事典』(2012)研究社など

このコラムでは、学習者の視点での話題をお届けします

UAEと日本の大きな懸け橋に

日本の高校で学ぶ4人のUAE高校生に聞きました。

アルマンズーリ(M)さん
高2

アルシェターリ(S)さん
高1



アルホーサニー(H)さん
高2

アルアブリー(A)さん
高1

—初めて日本語に出会った時、どんな思いでしたか。

S: 日本語を話せるようになったのは小学校の頃。外国人と勉強することになって、(当然だけど)周りにアラブ人がいなくてドキドキしていました。

—初めて日本に来た日、どのようなことを感じましたか。

H: 日本には家族がいなかったため、自分一人で洗濯や掃除をするのが大変でした。

A: 家族と一緒にではなく、一人で来日したので緊張しました。少し怖い気持ちもありました。

—日本の高校生と寮生活する中で、どんなことが楽しいですか。

H: 寮には様々な国から帰国した日本人高校生もいるので、多くのことを学べる楽しさがあります。また、寮生活ではあらゆることを自分でしなければなりません、自分でする楽しさを感じることもあります。

M: お互いの違いを話すことは面白いです。宗教の違いなどを日本人と話すことで、イスラム教のことも理解してもらえたり、日本の宗教についても知ることができました。わからないことは日本人の友達に聞けば、すぐに答えてくれるので、日本人はとても優しいと思います。

S: UAEで生活していたときは、日本人と出かけるという発想がありませんでした。でも今は、日本人と一緒に週末に出かけたり、新しいお店に行ったりしています。遊ぶだけでなく一緒に勉強をしているので、お互い成長したなと感じるときもあります。

4人とも生粋のエミラティ(UAE〈アラブ首長国連邦〉国民)。母語もアラビア語だが、幼稚園からアブダビ日本人学校に通う。それぞれ15歳で来日し、現在は日本の高校に留学生として在学。今年10月から開催される、ドバイ万博で日本館PRアンバサダーに就任。

—日本で日本語を勉強している外国人についてどのように思いますか。

M: 日本にいる留学生の多くは、日本に来てから日本語を勉強しているのではないかと思います。自分たちは小さい頃から日本語を勉強しているので、日本語の(微妙な)発音の違いが区別できます。頑張ってきてよかったと思います。

A: 違う国の人と日本で出会って一緒に日本語を勉強することは、本当に素晴らしい偶然だなと感じています。偶然はどこにでもあるものではないので、この機会を今後の人生に活かしていきたいです。

—将来の夢を教えてください。

H: 僕の夢は大使になることです。せっかく日本に来て日本語を勉強しているので、その経験を活かしたいと思っています。日本

とUAEの関係を今以上に強くして、在日UAEの人たちの生活をもっと応援したいと考えています。

A: 夢は外交官になることです。日本とUAEの関係をもっと深めたいです。今の両国の関係は、石油のことが中心なので、お互いの文化のこと、素晴らしいところなどを広めていきたいと思っています。

S: 僕はエンジニアとして土木や建築関係を特に勉強したいです。日本に来て、地震を経験して日本の建物の構造に興味を持ちました。UAEでは自然災害に対する意識が低く、対策についてあまり考えられていません。大きな災害が起きたときのための予防ができるように日本の建築について学び、UAEで自然災害に強い建物を建てたいです。

M: 車の整備士になって車の会社で働きたいと思っています。UAEでは、トヨタや日産の車を所有している人が多いので、日本で作られている車のことをもっと勉強してUAEに持ち帰り、学んだ知識を自分のためだけでなくUAEの人たちのために還元していきたいと思っています。

—日本語を勉強している後輩へメッセージをお願いします。

全員: 4人共はじめは日本語を勉強することに対して苦手意識を強く抱いていました。日本語の勉強から逃げ出したいと思う人がいるかもしれませんが、もしかするといつか日本への留学に繋がり、日本語や日本の文化について学ぶ機会が巡ってくるかもしれません。自分の思いも大切にして、やりたいことをあきらめないで頑張してほしいと思います。



国内編

大阪府 豊中市

外国人支援のハブとしての「日本語交流活動」

公益財団法人とよなか国際交流協会

事業主任職員（日本語事業担当） 山本房代

はじめに

公益財団法人とよなか国際交流協会（以下、当協会）では、とよなか国際交流センター（以下、センター）を拠点に、事業の要として「日本語事業」「相談事業」「子ども事業」の3事業を挙げている。いずれも地域の外国人・外国にルーツをもつ人の日本語学習、日常生活や行政手続きなどの相談、子どもへの学習支援や居場所探し、といった生活に直結するニーズに応えるものだ。当協会では、他にも約30の事業を展開しているが、上記3つの活動が各事業を展開する上での土台となっている。

日本語を学ぶ場を地域コミュニティに

当協会は、1993年の設立当初から日本語事業において「日本語交流活動」を掲げていたわけではない。当時開催していた日本語教室で行ったアンケートで「学んだ日本語を話すのはここ（この教室）」という人が一番多かったという結果を受けて、「日本語を学ぶ場そのものを地域コミュニティのような場に変える」という交流型への転換がなされた。1999年ごろから、日本語教師ではなく地域の市民により、試行錯誤を重ねながら日本語を学ぶためのサポートや交流を行うスタイルが徐々に生まれ、現在は週に5つの日本語交流活動が当協会の主催事業として実施されている。また、4つの日本語ボランティア自主グループが、センター内で毎週（もしくは隔週）活動している。

「日本語を学びたい」の言葉の背景に心を寄せる

日本語交流活動に参加する学習者たちにとって、「日本語を学びたい」という気持ちは

共通だ。しかし、その背景は多様である。何年も通い続けている人や、日本語に不自由はないけれど毎回欠かさず参加している人、仕事の休暇中にだけ参加する人もいる。継続して参加し続ける人もいるが、一度来た後ずいぶん経ってからまた参加する人も少なくない。同時時間帯に開催されている乳幼児向けの活動に子どもを預けて参加することで、日頃の育児疲れから解放されると語る外国人ママもいる。日曜日の活動には、技能実習生の姿も多くみられる。全体で約150人の日本語ボランティアは、多様な学習者を柔軟に受け入れている。「たまの休みに頑張って日本語を学ぼうとする姿勢がすごい。いつ来ても温かく迎えてたい。彼らとの出会いで私は変わった」と、技能実習生との出会いを語るボランティアもいる。学習者一人ひとりの日々の生活や悩みに想いを馳せ、共感しながら活動が行われているからこそ、単なる語学学習の域を超えて「コミュニティ」として活動が機能している。

日本語交流活動での出会いから

活動で知り合った人同士で課外活動に出かけたり、学習者の病気や出産のサポートをしたり、学習者もボランティアも、日常生活の延長として日本語交流活動に参加し、人間関係をつむいでいる。

また、就労や進学相談、その他気になる学習者のケースは、「相談事業」や「子ども事業」につなぐなど連携をとっている。夫婦関係の悩みや子どもへの日本語・母語支援が必要な場合などその内容は様々だ。さらに、日本語交流活動をきっかけに、地域の外国人が小学校に出向き授業を行う「小学校英語・外国語体験活動」や、市立図書館と共催で行う外国人ママの居場所づくり「おやこでにほんご」に参加するなど活動への参加が地域社会との様々なつながりのスタートと



みんなでカルタ。学習者さんは見つけるのが早い！

なっている。

ある女性は10代で来日、日本語交流活動ではじめて日本語に触れた。進学・就職後は活動に参加する暇はなかったが、昨年一児の母となり退職。「おやこでにほんご」に子どもと通い始めた。「センターは、日本での実家のような感じ。だから「おやこでにほんご」もちょっと行ってみようかなって。子どものことを色々聞けるし、育児の息抜きになる」と話す。参加者は日本語交流活動をきっかけに、ライフステージにあわせて活動を選び、利用している。

おわりに

日本語交流活動では、グループで円になってお喋りに興じたり、共にプリントに目を通しながら真剣に話をしたり、いわゆる“先生”らしき人はいない。様々なスタイルをとるグループがあるが、それぞれの活動において参加者同士の顔が見え、知り合いとなれるようなグループ活動が意識され、そのための試行錯誤が今日も繰り返されている。



海外編

台湾 花蓮県



台湾東部における日本語の現在

国立東華大学

教授 簡月真

台湾東部の花蓮県にある国立東華大学のキャンパスでは、学生同士が互いに向き合い、中国語の[u]と標準日本語の[ɯ]の違いを確認しながら、一生懸命に発音練習している声が響きわたっています。この大学に日本語学科はないのですが、共通教育科目の「日本語」のクラスには毎学期100人を超える受講希望者が殺到します。日本から東京大学の教授を招き、講演会を開いたときも、大勢の学生が集まりました。学生たちの日本語学習の動機は日本への留学だけでなく、旅行や漫画・音楽鑑賞のためとさまざまで、学んだ日本語を駆使して祖父母やそれ以上の世代とのコミュニケーションが増えたという学生もいました。

日常生活の中でも、例えば「一級棒(一番)」「卡拉OK(カラオケ)」など、日本語由来のことに触れることが多い学生たちにとっては、日本語そのものに親しみがあるのです。私自身も幼い頃から、祖父が互いに母語を異にする同世代の人と日本語で会話しているのをしばしば耳にしてきました。

台湾に渡った日本語の痕跡

台湾では、アタヤル語(=タイヤル語)・セデック語・ブヌン語などのオーストロネシア語族の言語や、閩南語・客家語・華語などの漢語が話されています。日本統治時代(1895年～1945年)に日本語教育を受けた世代の間では、母語を異にする同世代との意思疎通にまだ日本語がリングフランカ(共通語)として用いられています。ただし、話者の高齢化によって、この言語現象は消えつつあります。

一方、台湾諸語に取り入れられた日本語由来の借用語は若い世代にも使われていま



東京大学教授 生越直樹先生(中央)による日本語講演後の記念写真。前列右から3人目が筆者

す。例えば、ブヌン語のunting・kikung・bintu・simintu・mumpi・tukiはいずれも日本語からの借用語ですが、これらの元の日本語は何かお分かりでしょうか。ここに挙げた例のiをeに、uをoに置き換えてみると、答えが見えてきます。「運転・結婚・弁当・セメント・もんぺ・時計」です。ブヌン語には母音がa・i・uの三つしかありません。このブヌン語の音的フィルターを通した結果、日本語のeがiに、oがuに統合されたのです。

「宜蘭クレオール」とは

さらに、語彙レベルを大幅に超えて、日本語とアタヤル語・セデック語とが接触して新しい言語(クレオール)が形成されました。この新しい言語は台湾東部の「宜蘭県」の山間部に住む一部のアタヤル人とセデック人によって使われており、日本語から多くの語彙や文法要素を取り入れています。日本語母語話者が聞いてもわからないくらいに再編成されています。私は共同研究者とともに、この言語を使用地域にちなんで「宜蘭クレオール」(Yilan Creole)と命名し、調査を進めています。

宜蘭クレオールは、長きにわたって「変な日



日本語入門の授業で五十音の発音と表記を練習

本語]「崩れたことば」などとして差別されてきましたが、言語接触によって短期間に形成されたこの言語は、人間の創造力を示す貴重な事例なのです。冒頭の国立東華大学に宜蘭クレオールを母語として育った学生が入学してきました。言語学を学び、私のフィールドワークを手伝う中で母語の価値に気づき、誇りを持つようになりました。その学生は卒業制作でメガホンをとって、村人たちの宜蘭クレオールに対するアイデンティティーをめぐるドキュメンタリー映画『迷跡』を完成させ、台湾教育部の映画コンクールで最優秀賞を受賞しました。なお、『迷跡』は日本語由来の単語「道」に当て字をしたものです。

台湾の中でも特にかつてから日本とのゆかりがある東部において、日本との文化接触の歴史に思いを馳せながら、さらに研究を進めるとともに、今後とも学生たちの日本語学習を手伝っていきたいと思います。

教材紹介

『初中級レベル ロールプレイで学ぶビジネス日本語 一場面に合わせて適切に話そうー』

村野節子・山辺真理子・向山陽子 著

B5判 180頁 別冊16頁(予定) 1,800円+税 3月発行予定

ロールプレイを通して場面に適したコミュニケーション能力を身につける

武蔵野大学非常勤講師 村野節子

本書は初級が終了した学習者向けのビジネス日本語教材で、既刊の上級向け『ロールプレイで学ぶビジネス日本語』と『中級レベル ロールプレイで学ぶビジネス日本語』の姉妹編です。初中級レベルの学習者が必要最小限のビジネス日本語で相手に失礼のないコミュニケーションができることを目指しています。

<特徴>

本書の「モデル会話」は主に**社内のビジネス場面**に限定し、シンプルな内容にしました。モデル会話には一般的に初級教科書で扱われている**基本的文型だけ**を使用していますが、難しいビジネス語彙には翻訳を付けてあります。

既刊の2冊と同様に各課に「話すタスク」として基本のロールプレイと難易度の違うロールプレイが入っています。加えて初中級レベルでは繰り返し発話練習をすることが不可欠ですので、学習項目を組み合わせたロールプレイで復習する**総合タスク**を3～4課ごとに入れました。このように全体を通してより多くのロールプレイを配置し、口頭表現能力を向上させるよう工夫しました。

上級、中級レベルの本と大きく異なる点は、「聞くタスク」と「応用タスク」があることです。

聞くタスク ー聞く力を伸ばす聴解問題

初級終了時は聴解能力が十分とは言えませんので、話す能力だけでなく聞く能力の養成が必要です。そこで各課の初めにモデ

ル会話の状況、背景を理解するためのプレタスクとして**聞くタスク**を入れました。

応用タスク ー語用論的視点を取り入れた練習問題

ビジネス日本語では敬語の使い方が重要だと考えられがちですが、本書は話す相手によって丁寧体と普通体を使い分け、状況や場面に応じて適切に話せるようになることを重視しています。しかしながら親疎・上下・ウチソトで表現の使い分けを意識させることは、このレベルでも必要です。そのため相手との関係性に配慮する語用論的視点を取り入れた**応用タスク**を各課に入れました。

<内容>

本書は全14課で、日本のIT系企業に就職した外国人新入社員が主人公です。4月から3月までを1年間のストーリーにし、主

人公が経験するお盆、忘年会、正月、転勤のような日本の社会・文化・習慣と社内での出来事を組み合わせています。

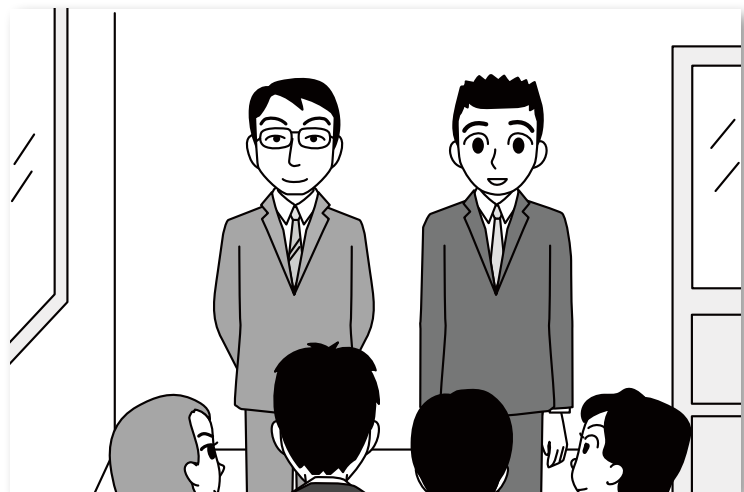
<構成>

聞くタスク
モデル会話
練習問題
話すタスク
応用タスク

総合タスク 3～4課ごと

Can-do チェックリスト(学習項目の到達度、定着度の確認リスト) 7課と14課の後

本書は初級終了レベルの学習者でも基本的なビジネス日本語を話せるよう様々な工夫をしてあります。多くの方に使っていただくことを著者一同願っています。



『新完全マスター単語 日本語能力試験 N 1 重要2200語』

石井怜子 監修 守屋和美・米原貴子・青柳方子・王亜茹・大野純子・木村典子・
小谷野美穂・齋藤明子・塩田安佐・鈴木英子・田川麻央・森田亮子・山崎洋子 著

A5 変判 374頁(予定) 定価: 本体 1,600円+税
3月発行予定

難しい N 1 レベルの単語も目標を決めて少しずつ

守屋和美

本教材は、既刊の『新完全マスター単語 日本語能力試験 N 3 重要1800語』『同 N 2 重要2200語』に続き、日本語能力試験 N 1 合格を目指す人を対象としたものです。

N 1 合格には、理解できる語の量を増やすことが必須です。しかし、広い分野をカバーする N 1 レベルの語には、普段なかなか目や耳に触れず、かつ意味の理解も難しいという語が多く含まれます。そのため、語彙に的を絞った意図的な学習が欠かせません。本教材は、読解や聴解で必要となる語を効率よく学習できるように工夫をしています。

《本教材の特長》

- ・複数のコーパスや教材を基に N 1 レベル 2200 語を厳選し、使用頻度が高い派生語や複合語もあわせて載せてあります。
- ・例文は、学習のターゲット語を除いてはそのセクションまでの既出語で作成してあります。実際の用例を踏まえた分かりやすい例文は、語の的確な意味理解を助けてくれます。
- ・学習しやすいように、品詞別(名詞はさらに分野別)で提示してあります。
- ・約 200 語ごとにある「読んでみよう」という読み物を使って、どれだけ学習できたかをチェックできます。
- ・語と例文及び「読んでみよう」には、英語・

中国語・ベトナム語の訳が付いています。

・語と「読んでみよう」の音声アプリで聞くことができます。

N 1 合格に語彙学習が不可欠と分かっても、なかなかその時間が取れないというのは、指導者、学習者に共通した悩みでしょう。本教材は持ち歩きに便利なコンパクトなサイズですので、どこでも、少しの時間でも語彙学習に活用できます。学習者の方は、学習計画を作り、訳が隠せる赤シートや音声も活用しながら、目標を少しずつ達成してください。

指導される方には、その努力をサポートしたり、あるいは授業の中でも活用したりしていただけたらと願っております。

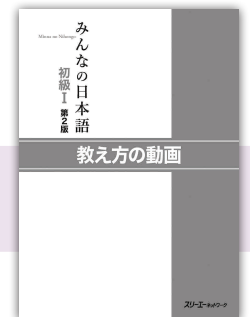
みんなの日本語初級 I 第2版 教え方の動画
第1課・第7課・第14課・第24課

スリーエーネットワーク[制作・著作]

動画コンテンツ(ストリーミング方式) 各課 400円+税

第1課、第7課、第14課配信中

第24課3月配信予定



日本語の授業の流れがイメージできる

今まで日本語を教えたことのない方々を対象に、日本語の授業の流れをイメージしていただくための動画です。授業で教える際の核となる各学習項目の「導入」と「基本練習」に特化して、一例を紹介しています(「基本練習」に続く応用練習、コミュニケーション活動等は含まれていません)。初級 I では、ご要望の多い4つの課をご用意しました。ご自身の授業を組み立てる際の参考として、ご活用ください。

学習項目ごとに、『教え方の手引き』ではわからない教師の動き、教具の使い方、学生とのやり取りを確認できます。授業に必要な教具や文法のポイントについても簡潔に紹介しています。

●第1課の構成

動画1: 学習項目1

～は～です(約10分)

動画2: 学習項目2

～は～じゃありません(約5分)

動画3: 学習項目3

～は～ですか(約12分)

動画4: 学習項目4

～は～の～(所属)(約3分)

動画5: 学習項目5

～も～です(約7分)

動画6: 学習項目6

～は～さいです(約8分半)



サンプル視聴・ご購入

<https://www.3anet.co.jp/np/books/9004/>



なんでも情報 BOX

Books ほん

すべて本体価格です

新訂版 留学生のための論理的な文章の書き方	1,400 円	2 月発行予定
新完全マスター単語 日本語能力試験 N1 重要 2200 語	1,600 円	3 月発行予定
初中級レベル ロールプレイで学ぶビジネス日本語一場面に合わせて適切に話そうー	1,800 円	3 月発行予定
日本語能力試験 N3 模擬テスト〈1〉	900 円	3 月発行予定
日本語能力試験 N3 模擬テスト〈2〉	900 円	3 月発行予定

Information

お知らせ

第 61 回 外国人による日本語弁論大会 出場者募集

日時：6月13日(土) 13:00 開始
 会場：ふくやま芸術文化ホール リーデンローズ(広島県福山市松浜町2-1-10)
 応募受付期間：2月17日(月)～4月23日(木)
 主催：一般財団法人 国際教育振興会、独立行政法人 国際交流基金、広島県福山市
 大会ウェブサイト：http://www.iec-nichibei.or.jp/iec04_2.html
 問合せ：一般財団法人 国際教育振興会「外国人による日本語弁論大会事務局」
 TEL：03-3359-9620
 FAX：03-3353-0562
 E-mail：
benron@iec-nichibei.or.jp



3A Plus スリーエーネットワーク WEB Magazine

3A Plusについて スリーエーネットワーク 会社概要 プライバシーポリシー お問い合わせ

トップ 日本語教育 すべて

授業に役立つ きほんの ICT講座

【入門編】『みんなの日本語初級 第2版 絵教材CD-ROMブック』のCD-ROMを開く その①

3aBanner

語学教材出版を通じて、世界の平和に貢献
スリーエーネットワーク
Contributing to World Peace through Language Study Materials

連載一覧

日本語教科書活用講座

季刊「Ja-Net」バックナンバー

「サードカルチャーキッズ」を知ろう!

人気のある記事

【入門編】『みんなの日本語初級 第2版 絵教材CD-ROMブック』のCD-ROMを開く その①

ピックアップ

特別連載
日本語教科書
活用講座

身近な話題で自然な会話「ストーリーと活動で自然に学ぶ日本語 いくつかのこで」を使った授業

特別連載
日本語教科書
活用講座

多文化クラスで『みんなの日本語』を活用するために求められる教師の授業技術 一学生の協働学習力・対話力の育成を目指す

Ja-Net 90号 2019/07/25発行 2019.10.25

『新訂版 留学生のための論理的な文章の書き方』および『新訂版 トピックによる日本語総合演習 テーマ探しから発表へ 中級前期』『同 上級』発行と現行版発行中止のお知らせ

『新訂版 留学生のための論理的な文章の書き方』を2020年2月に発行予定です。改訂に際し、文章を一部新しいものに差し替えています。構成に大幅な変更はございません。

また『新訂版 トピックによる日本語総合演習 テーマ探しから発表へ 中級前期』を2020年5月に、『新訂版 トピックによる日本語総合演習 テーマ探しから発表へ 上級』を6月に発行予定です。この2冊は改訂版の出版から10年を迎えるにあたり、古くなったグラフ等のデータを見直し、新しくします。

これら『新訂版』発行にあたり、現行版の発行は中止いたします。

『Ja-Net』リニューアルのお知らせ

次号より、本誌のレイアウトをリニューアルします。文字を大きく、カラーの紙面で読みやすくなります。今後とも引き続き、ご愛読のほどよろしくお願い申し上げます。

スリーエーネットワーク Web マガジン「3A Plus」のご案内

3A Plusはスリーエーネットワークが運営する、日本語教育や外国語学習法などを紹介するウェブマガジンです。定番の『みんなの日本語』シリーズや日本語能力試験対策の『新完全マスター』シリーズなど、スリーエーネットワークから発行している教材の著者や現場で教えている日本語学校の先生方が教材の具体的な活用例を紹介する「特別連載 日本語教科書活用講座」や、創刊24年目を迎えたスリーエーネットワーク広報誌『Ja-Net』が創刊号からご覧いただけます。

CD-ROMブックなどのデジタル教材を購入したけれども活用方法がよくわからない、コンピューターの操作方法を教えてください、などお問合せをいただきます。そんな先生方のために「日本語教師のための授業に役立つきほんのICT講座」もご用意しています。

更新は不定期ですが、順次新しい記事や様々なコーナーを増やしていく予定です。

スリーエーネットワーク Web マガジン「3A Plus」 <https://plus.3anet.co.jp/>



Ja-Net No. 92 季刊ジャネット

スリーエーネットワークという社名は、アジア (Asia)、アフリカ (Africa)、ラテン・アメリカ (Latin America) の三つの地域をネットワークでつなぎ、相互理解と友好促進を図ろうという趣旨をシンボライズしています。

2020年1月25日発行

- 発行人 藤崎政子
- 発行所 (株)スリーエーネットワーク
Ja-Net編集室
〒102-0083 東京都千代田区麹町3-4
トラステイ麹町ビル2F
TEL: 03-5275-2722 FAX: 03-5275-2729
E-mail: sales@3anet.co.jp
<https://www.3anet.co.jp/>
- 印刷 (株)ワコー
- © 2020 by 3A Corporation Printed in Japan (禁無断転載)

●『Ja-Net』をご希望の方はお名前・ご住所・ご所属を編集部までお知らせください。無料でお送りいたします。『Ja-Net』第93号は2020年4月25日発行予定です。